

がんセンター

スタッフ

センター長		中瀬一則（血液内科）
副センター長		小塚祐司（病理部）
		福永雅子（看護部）
医師	常勤	3名
看護師	常勤	1名
事務職員	常勤	1名
	非常勤	10名

がんセンターの特色

がんセンターは、医学部附属病院内の各診療科の縦割りの垣根を超えて、診療科横断的に、適切ながん集学的治療、チーム医療を推進するための活動を行っています。支援系統 5 部門、診療系統 11 部門の計 16 部門より構成され毎月、各部門のリーダー（医師）と県の医療保健部の担当者より構成されるリーダー会議を毎月、第一水曜日に開催し、病院内のがん医療についての情報共有や意見交換と県のがん対策の取り組みについて協議しています

活動内容

Tumor board : がんセンターでは定期的な活動として、病院全体で tumor board を開催して、確定診断が困難な症例、治療が複数の診療科に関わる症例について、最適な治療方針を迅速に決定するための協議を行っています。毎月、第二水曜日の午後 6 時より、画像診断や病理診断の専門医、外科手術、化学療法、放射線療法、緩和ケア等の専門医、さらに関連の薬剤師、検査技師、放射線技師、看護師、臨床心理士、MSW 等の関係者が毎回100名前後参加し、活発な討議が行なわれていました。しかし、本年度はコロナ禍での多数参加による開催は難しいと判断し、関連する診療科に参加人数を限定して開催しました。



医科歯科連携推進人材養成研修会 : 多職種連携事業として年2回開催されている医科歯科連携推進人材養成研修会は、本年度は2月23日（火）にweb形式で開催された。当日は歯科衛生士会副会長、歯科医師会常務理事にも講演頂きました。三重県で医科歯科連携を進めていくうえで重要な機会でしたが、今回で最後となり、今後体制を見直すことになりました。



WEB形式で開催された医科歯科連携研修会

がんチーム医療研究会 : がん医療に携わる医師、薬剤師、看護師等の多職種連携の勉強の場として、がんチーム医療研究会を、例年9月第2週に、ホテルグリーンパーク津で開催してきましたが、2020年はコロナ禍のため中止となりました。

がんプロフェッショナル養成プラン : がんセンターでは、「がんプロフェッショナル養成プラン」によるがん専門医療人の育成に取り組んでおり、連携する京都大学、滋賀医科大学、大阪医科大学、京都薬科大学と研修会を開催してきました。

本年度は9月18日（金）に5大学連携医療フォーラムがWEB形式で「がん患者や家族の視点を教育内容に反映』をテーマとして開催されました。三重大学からは岩本先生が三重大学の取り組みを報告し、その後パネルディスカッションに参加されました。

2月13日～14日には5大学連携学生短期研修プログラムが三重大学主催で開催されました。がんゲノムコース：中谷先生、放射線コース：野本先生、緩和ケアコース：松原先生の指導のもと、京都大学9人、三重大学5人、滋賀医大2人、大阪医大1人、京都薬科大2人が参加しました。今後こうした研修を通じて、人材の育成を進めていく予定です。



がんプロ短期研修

市民公開講座：地域住民の方へのがん医療の啓発活動として、今年度も市民公開講座を開催しました。例年、5月に開催している「生命の駅伝」とのジョイント公開講座はコロナ感染症の蔓延のため、11月14日（土）に延期して開催されました。生命の駅伝の寄付金受賞者の研究発表と垣添忠生先生（国立がんセンター名誉総長）の講演が行われました。

2021年3月7日（日）には、第14回市民公開講座「知ってほしい。胃がん・大腸がんについて」と題して完全WEB形式で開催されました。



3月7日にWEB開催された市民公開講座

がん教育：県のがん対策として取り組んでいるがん教育の出前授業については、コロナ感染症のため本年度は依頼が非常に少なかったが10月29日には石原先生が名張市すずらん台小学校、12月4日には岩本先生が伊賀市立上野北小学校などで授業を行った。

ワールドキャンサーデーライトアップイベント：
2月4日（火）のワールドキャンサーデーに合わせ

てライトアップイベントが開催されました。患者さんの憩いスペースの窓を青色とオレンジ色でライトアップされました。



ワールドキャンサーデーライトアップ